



# 中量ボルトレス棚 “M3型”

(パネル・引出しスライド棚6段・扉付 高さ2100mm 単体)

M3-U7364-SL6-SGR/SGA(W900)

## 組立・取扱説明書

トラスコ中山の製品をお買いあげいただきありがとうございます。

末永くご愛用いただくために、この「組立・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい組立とご使用をお願いします。

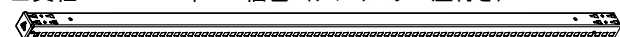
### 組立・取扱上の注意点

1. 付属のアジャスターで必ず棚の水平・垂直のレベルを正確に調整してください。
  - ・調整をおこたりますと、棚ががたついたり、扉が歪んで開閉ができない場合があります。
  - また、スライド棚のスムーズな出し入れが出来なくなる場合があります。
2. アジャスターのロックナットはレベル調整後、必ず締めてください。
  - ・締め忘れますと、棚の積載物の荷重により裏面のナットの溶接が外れる場合があります。
3. 組立のネジは確実に締めてください。
  - ・締め忘れや不十分な締め付けは、棚の傾きや部品の脱落等が起こり危険です。
4. 扉の開け閉めは丁寧に行ってください。
  - ・力まかせの開閉は変形や破損の恐れがあります。
5. 各棚は、許容荷重以上の積載はしないでください。
  - ・棚の変形や破損が生じ、積載物が落下する恐れがあり危険です。
6. 製品の清掃は、中性洗剤などをご使用ください。
  - ・ラッカーシンナー等の溶剤を使用しますと、塗装の剥がれやアクリル窓の割れを生じます。

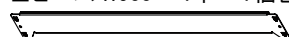
### 梱包内容

組み立てる前に必ず梱包内容を確認し、不足のある場合はご購入のトラスコ販売代理店にお問合せください。

■支柱 H2100 = 4本～1梱包 (アジャスター座付き)



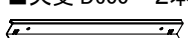
■ビーム W900 = 4本～1梱包



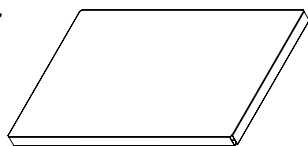
■棚受 D600 = 6本



■天受 D600 = 2本



■棚板 W900 × D600 = 4枚

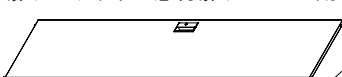


■扉セット～1梱包

扉左 / アクリル窓付扉左 W900 用 = 1枚



扉右 / アクリル窓付扉右 W900 用 = 1枚

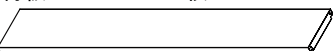


扉の鍵は窓右の裏面に  
貼り付けています

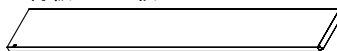


■背板セット～1梱包

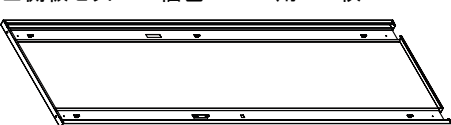
背板 L W900 = 2枚



背板 R = 1枚

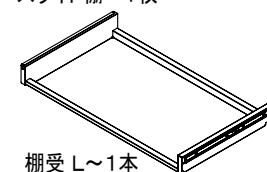


■側板セット～1梱包 D600 用 = 2枚



■スライド棚セット～6梱包 (各部品の入り数 / 1梱包)

スライド棚～1枚



○ネジセット=1袋

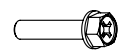
フック = 1個



フック取付台座 = 1個



十字穴付き六角ボルト  
M5×20L = 1個

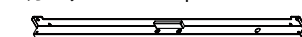


トラス小ネジ  
M5×10L = 3個

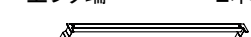


■部品セット～1梱包

カマチ 900 = 2本



上フタ端 = 2本



アジャスター = 4個



ロックナット M16 = 4個



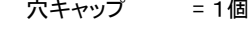
支柱裏板ナット = 4個



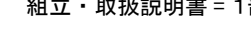
M6 セムスネジ = 8個



ドリルネジ = 4個



ナイロンワッシャー = 2個

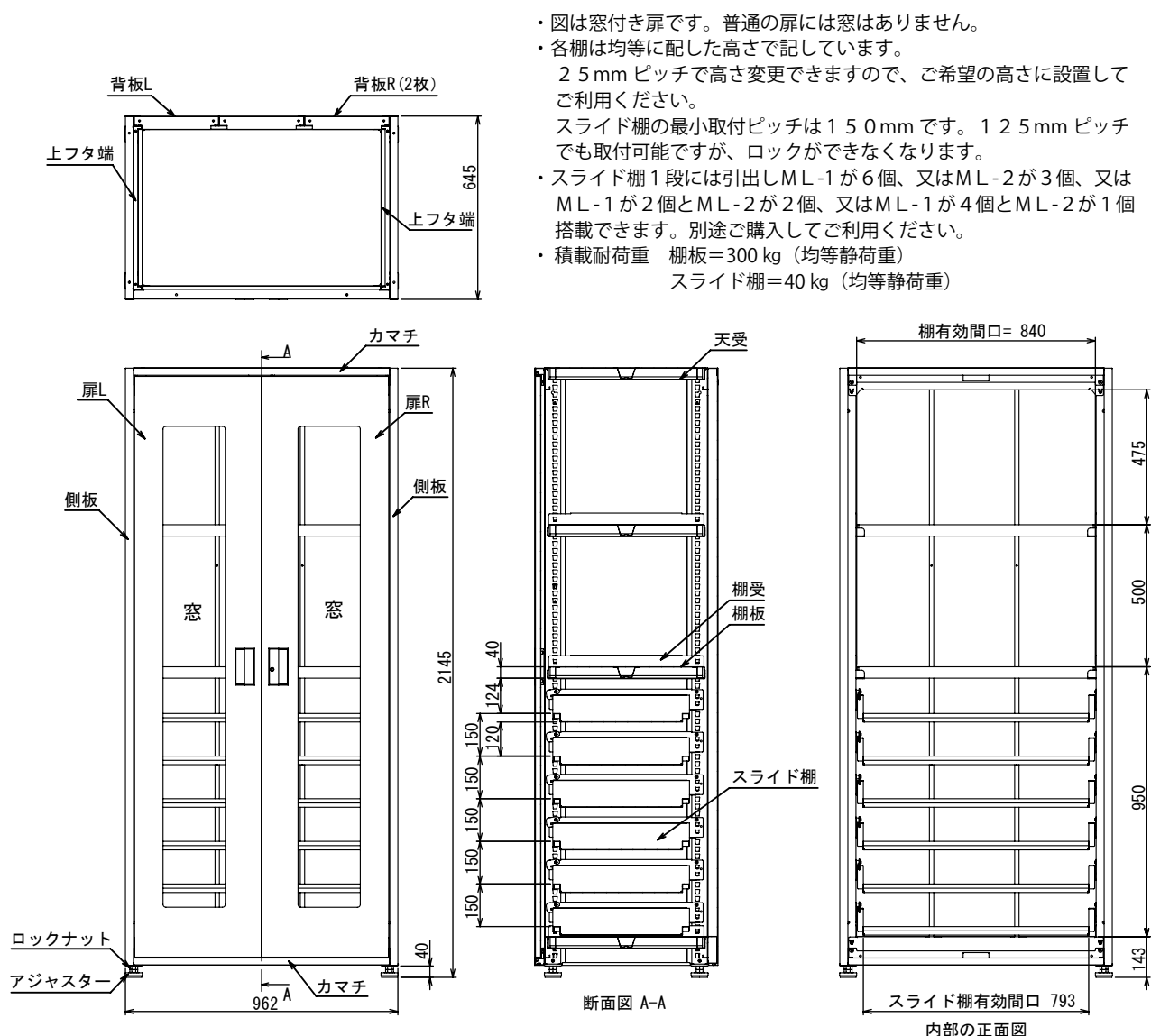


穴キャップ = 1個



組立・取扱説明書 = 1部





- ・図は窓付き扉です。普通の扉には窓はありません。
- ・各棚は均等に配した高さで記しています。  
25mmピッチで高さ変更できますので、ご希望の高さに設置してご利用ください。  
スライド棚の最小取付ピッチは150mmです。125mmピッチでも取付可能ですが、ロックができなくなります。
- ・スライド棚1段には引出しML-1が6個、又はML-2が3個、又はML-1が2個とML-2が2個、又はML-1が4個とML-2が1個搭載できます。別途ご購入してご利用ください。
- ・積載耐荷重 棚板=300kg (均等静荷重)  
スライド棚=40kg (均等静荷重)

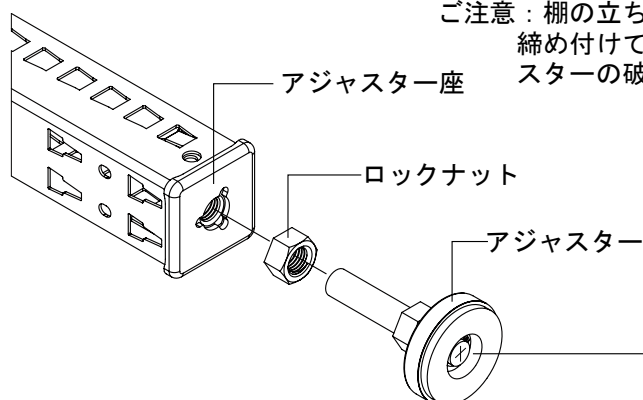
## 組立に必要な工具

■ 組立時には下記の工具が必要です。前もって準備しておきましょう。

- ・十字ドライバー（電動式が便利です）
- ・プラスチックハンマー
- ・コンベックス
- ・スパナ（幅24mm、ロックナット固定用）
- ・水平器
- ・脚立

## 1 アジャスターの取付

■ アジャスター座にアジャスターとロックナットを取付けます。

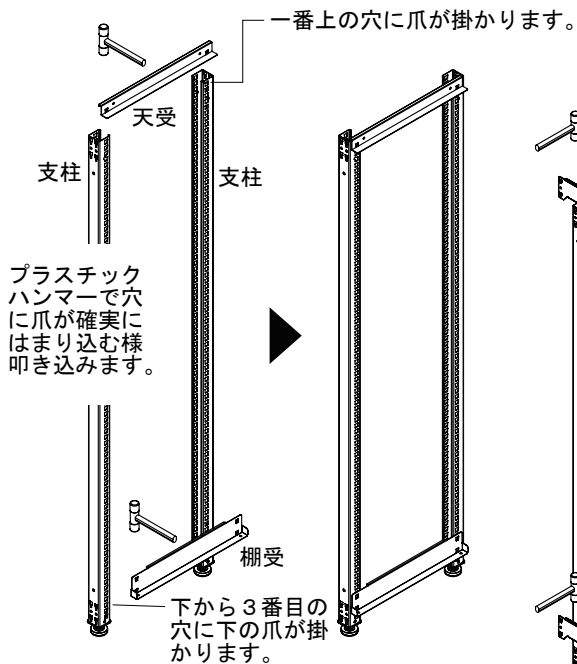


ご注意：棚の立ちの調整後は必ずロックナットをアジャスター座に締め付けて固定してください。固定しない場合は、アジャスターの破損の恐れがあります。

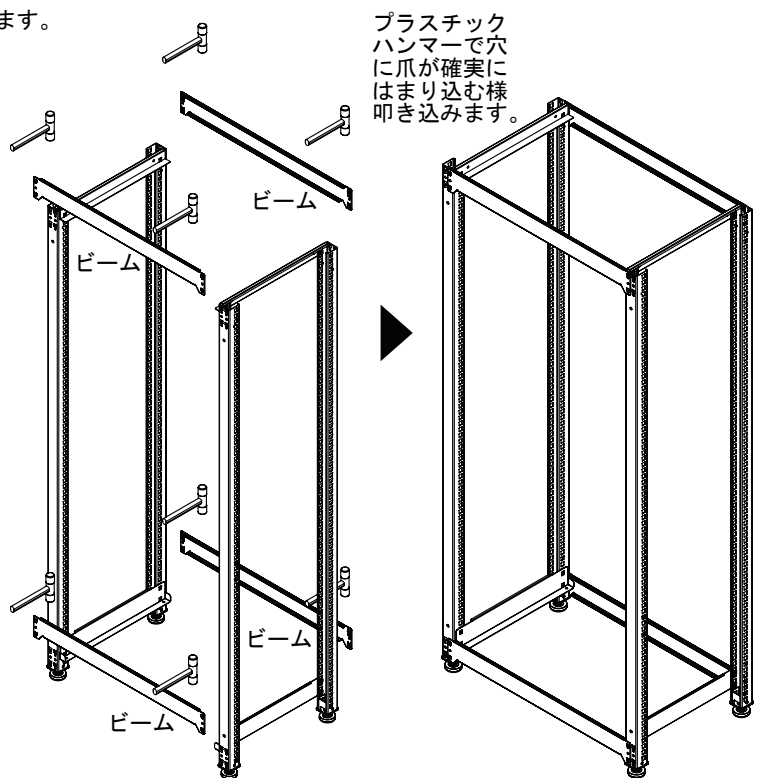
十字穴がありますのでドライバー等の工具で最後まで回し込み取付けてください。

## 2 フレームの組立

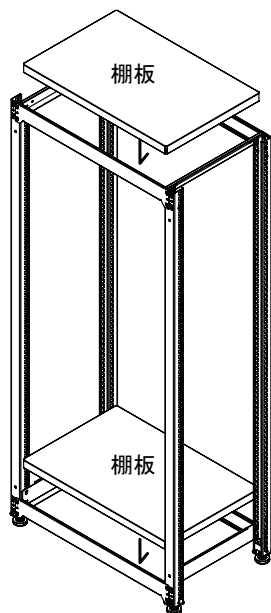
① 支柱と棚受、天受で枠を2組作ります。



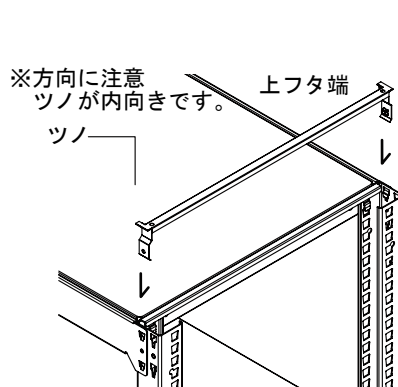
② ①で出来た枠にビームを取付けます。



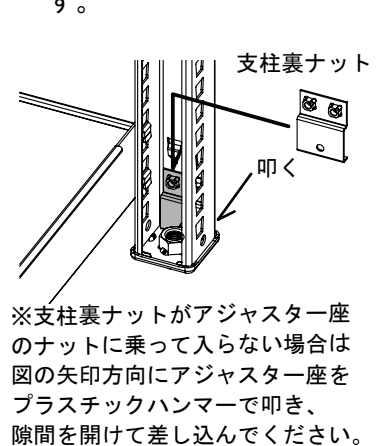
③ 天地に棚板を入れます。



④ 上フタ端を左右の支柱上の内寄りに差込んでください。



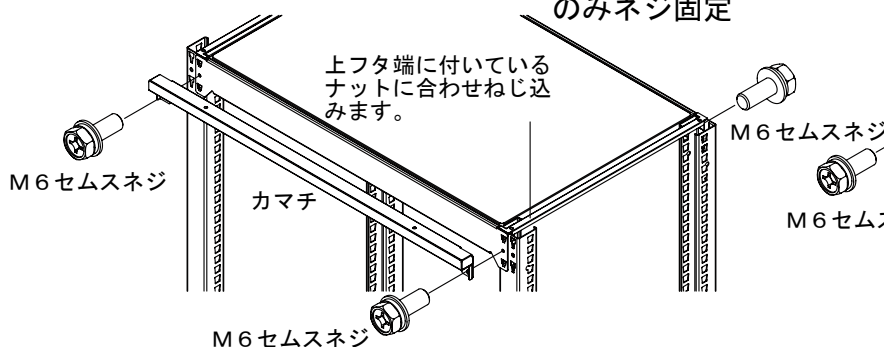
⑤ 支柱裏板ナットを4本の支柱の内側に差し入れます。



## 3 カマチの取付とネジ固定

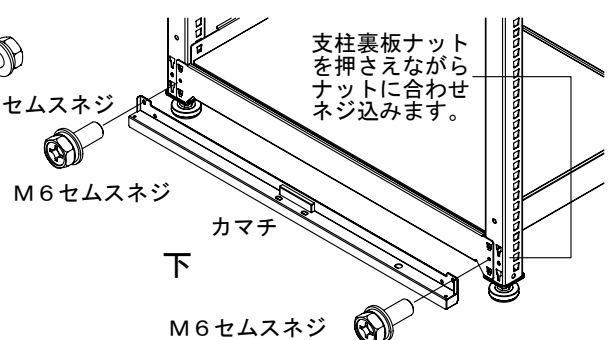
■カマチを上下のビームに取付けます。

上



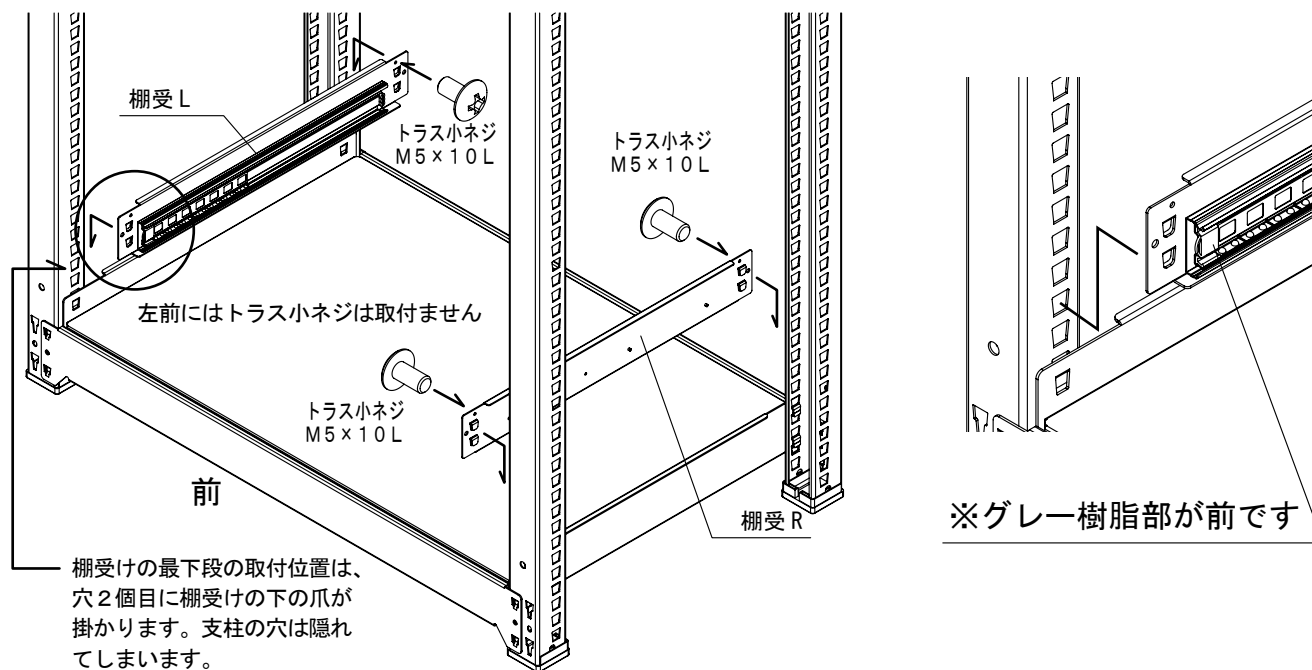
＜注意＞

背面下は前後左右4カ所ネジ固定してください。



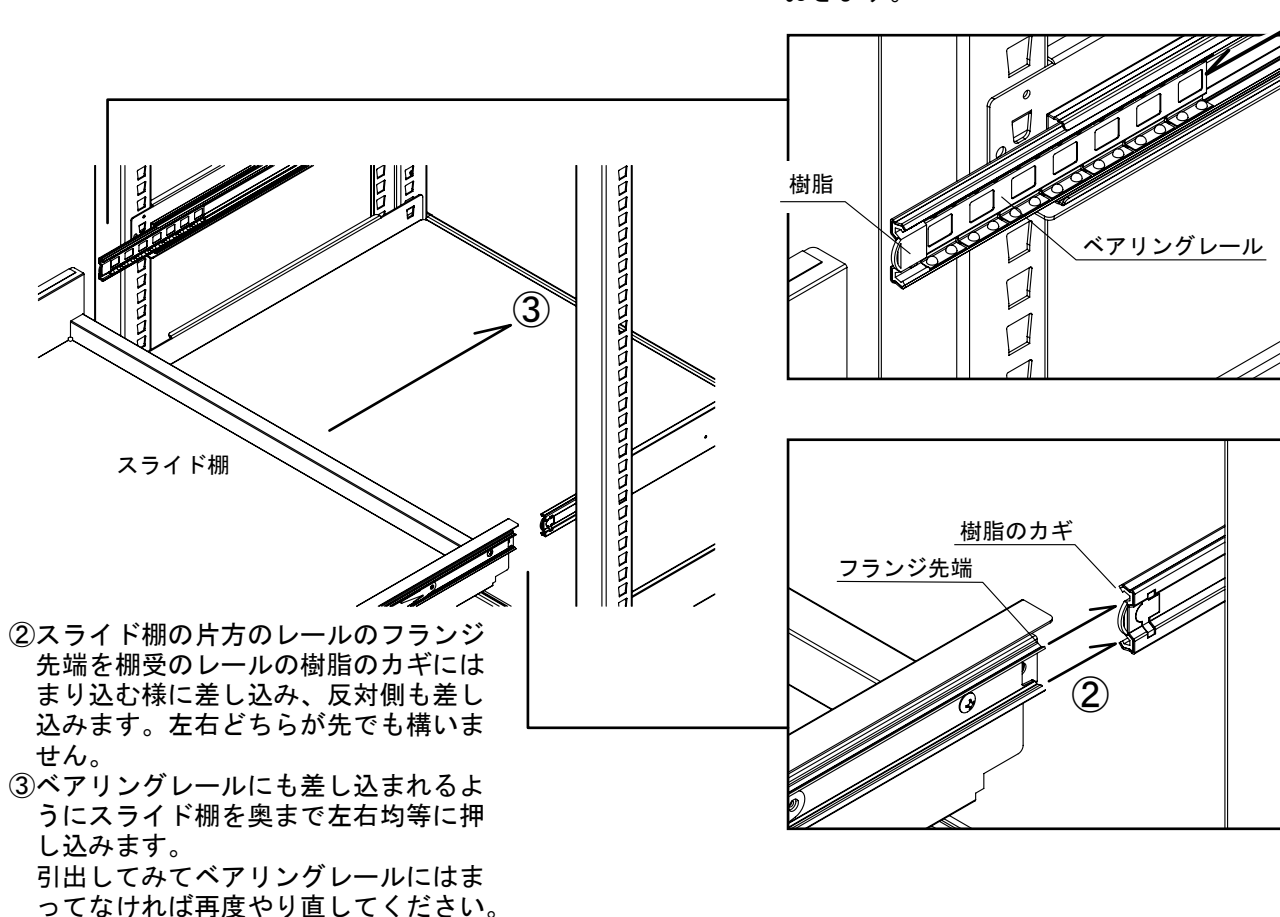
## 4 スライド棚の 棚受 L/R の取付

- 棚受の L/R の爪を支柱の穴に掛け、所定の高さに取付けます。左右間違わないようにご注意ください。  
取付け後はプラスチックハンマーでしっかりと叩き込み、跳ね上がり防止の為にトラス小ネジ M5 × 10 L を取付けます。



## 5 スライド棚の取付

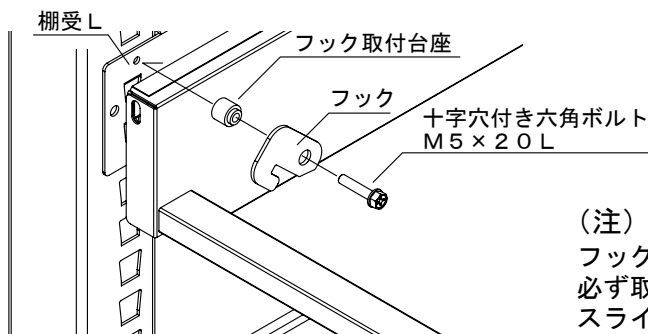
- スライド棚のレールを棚受けのレールに差し込みます。①左右のベアリングレールを前に移動させておきます。



- ③ベアリングレールにも差し込まれるようにスライド棚を奥まで左右均等に押し込みます。  
引出してみてもベアリングレールにはまっていなければ再度やり直してください。

※スライド棚を外す方法は P 5 - 8 を参考にしてください。

## 6 フックの取付



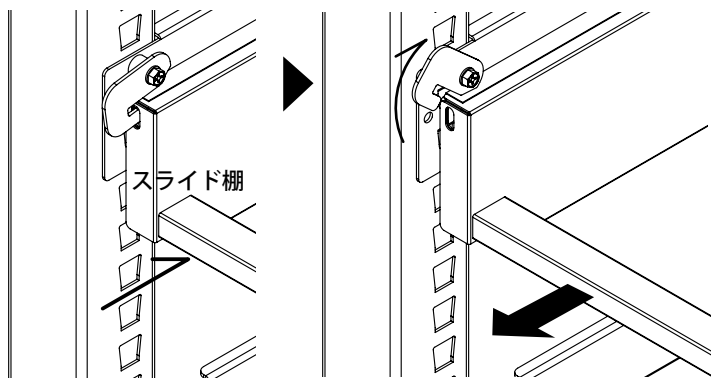
■フック取付台座にフックをはめ込み、十字穴付き六角ボルトM5×20Lで棚受Lに固定してください。

※この時、フックは自由に回転することを確認してください。動きが悪い場合は、潤滑剤等を差して動くようにしてください。

### (注) フック取付の注意

フックは、地震時に棚が飛び出さ無い為の安全装置です。必ず取付てご使用ください。スライド棚板の全部が飛出して、中量棚の転倒の恐れがあります。

## 7 スライド棚の引出し方

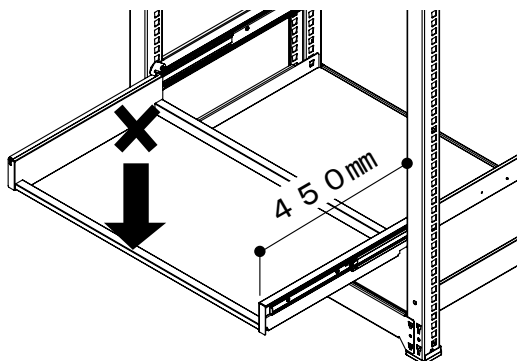


■スライド棚が奥に押し込まれた状態でフックを上に戻らせてロックを外し、スライド棚を手前に引き出します。

スライド棚を奥に押し込めば、フックは自動的に回転し下がり棚の穴に入り込みロックが掛かります。

### (注) スライド棚を引き出す時の注意

スライド棚を力任せに引き出さないでください。レールのストップ機構は樹脂で出来ていますので破損し、棚の落下の恐れがあります。丁寧な取扱いをお願いします。

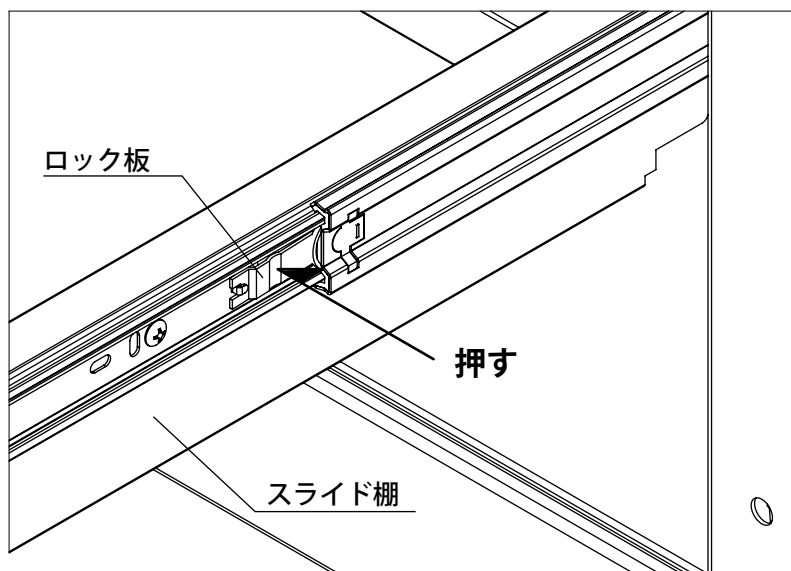


### (注) スライド棚を引き出した時の注意

スライド棚は積載物を取出しやすいようにフルスライドレールを使用していますので、柱の前面から450mm出てきます。

引き出した状態で上から手で押さえ付けたり、許容荷重(均等荷重)の40kg以上を乗せないでください。

## 8 段替え時のスライド棚と棚受けの取出し方



※スライド棚の段替えをする時に、スライド棚を取出し、棚受の高さを変え、段替えを行います。

■スライド棚を前まで引き出し、スライド棚を抱えたままで、左右レールの樹脂ロック板を指で押して抜き出します。

## 9 背板と側板の取付

※壁に添わして設置する場合は、後で背板や側板の取付が出来ませんので、添わせる側の背板や側板を先に取付けてください。

### ■背板の取付

背板を左から順番にビームと棚板の隙間を利用して取付けます。

①上の折曲がりをビームと棚板の隙間に差し込みひっかけます。

②右上をネジ止めし穴キャップしてください。

M6 セムスネジ  
穴キャップ

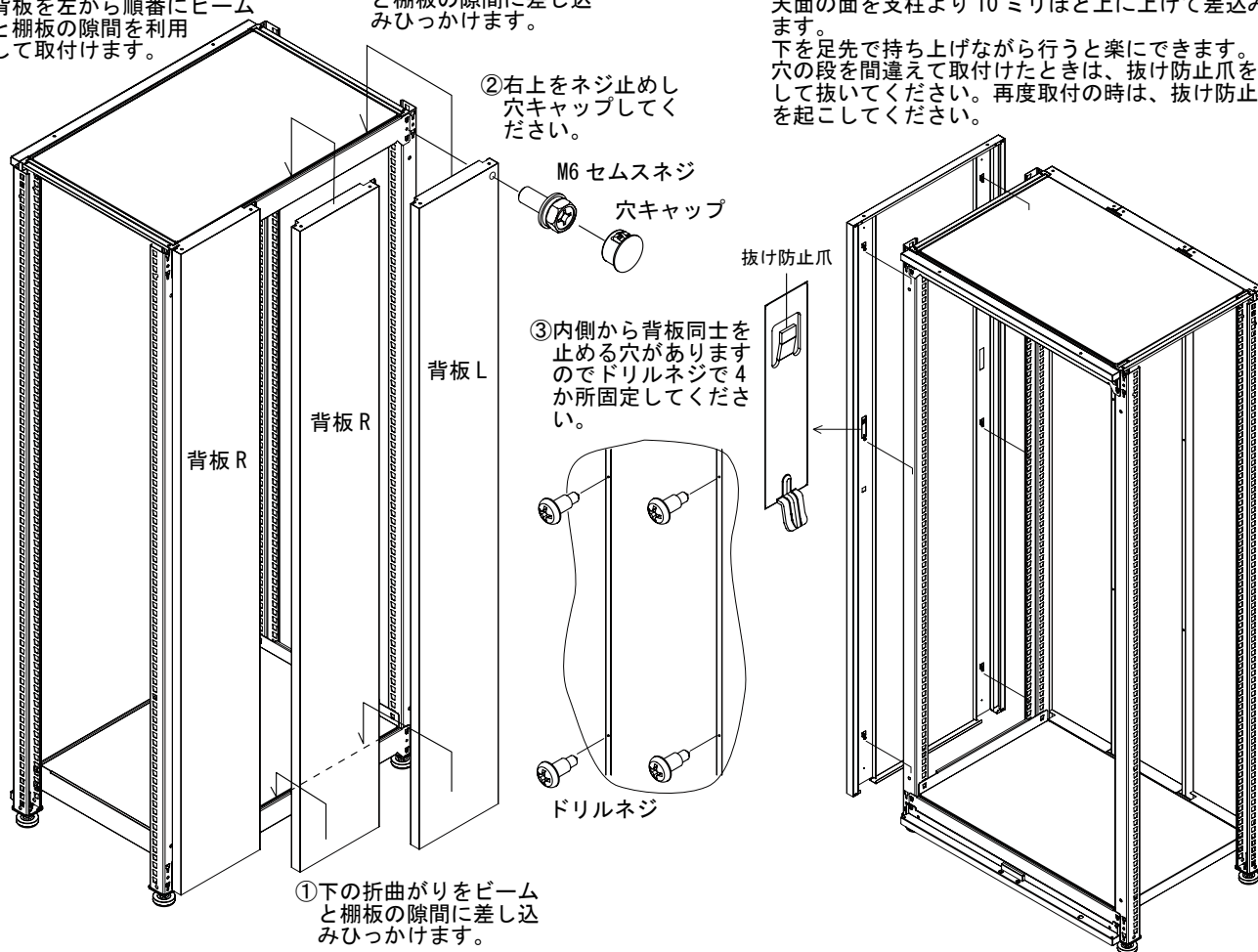
③内側から背板同士を止める穴がありますのでドリルネジで4か所固定してください。

ドリルネジ

### ■側板の取付

側板の爪を支柱の穴に引っ掛け取付けます。天面の面を支柱より10ミリほど上に上げて差し込みます。

下を足先で持ち上げながら行うと楽にできます。穴の段を間違えて取付けたときは、抜け防止爪を押して抜いてください。再度取付の時は、抜け防止爪を起こしてください。



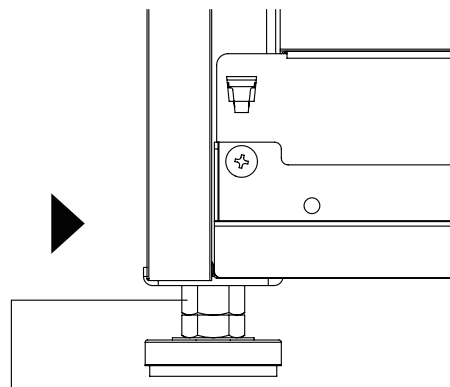
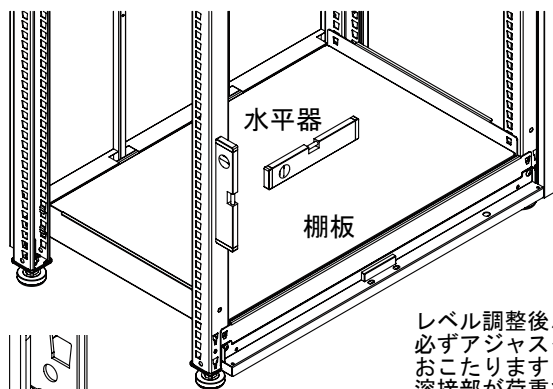
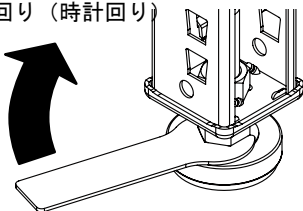
## 10 設置場所に置きレベル合わせ

■所定の場所に移動させて棚のレベル合わせを行います。

水平器を棚板の上に置き、傾いている方のアジャスターを高くします。左右、前後、斜めとまんべんなく水平を図り調整します。支柱の垂直も測定し、傾いている場合は先にカマチを止めたネジを緩め傾きを矯正してください。矯正後は必ず緩めたネジを締め直してください。

※アジャスターは右回りに回すと高くなります。

右回り（時計回り）



レベル調整後、ロックナットを左に回して必ずアジャスター座を締め付けてください。おこたりますと、アジャスター座のナット溶接部が荷重で外れる恐れがあります。もし外れた場合は、ロックナットを棚が水平な位置まで回して締めて固定してください。アジャスターを回転させないで行うと復旧が可能です。

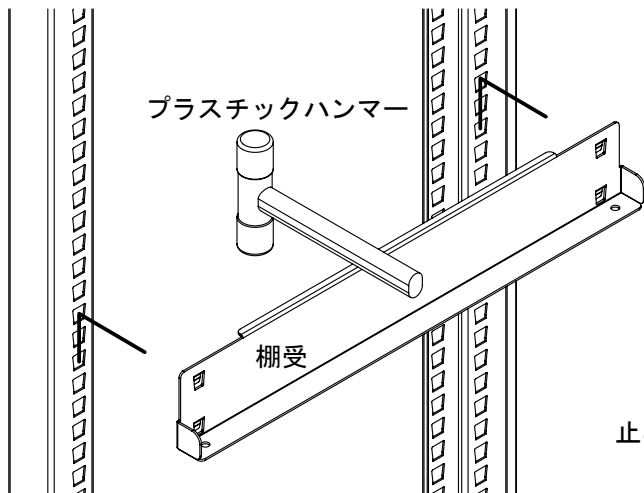


## 1 1 棚受と棚板の取付

姿図を参考に棚板を取付けてください。姿図は均等分割配置ですので、収納する物に合わせてご自由に高さを変更してください。棚の高さは25ミリピッチで変更が可能です。

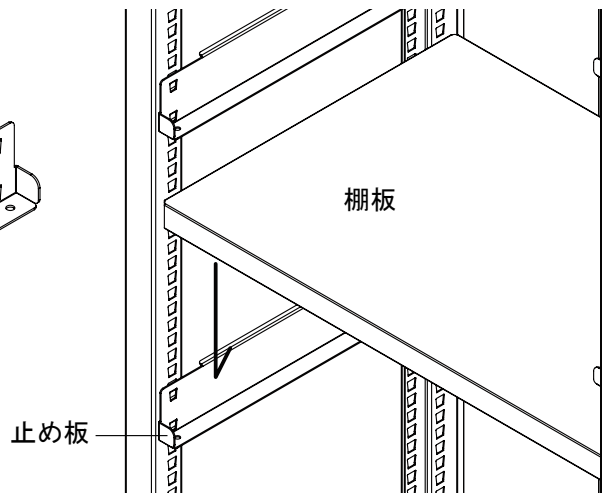
### ■棚受の取付

棚受の爪を支柱の穴に差し込み、プラスチックハンマーで叩き込んで固定してください。



### ■棚板の取付

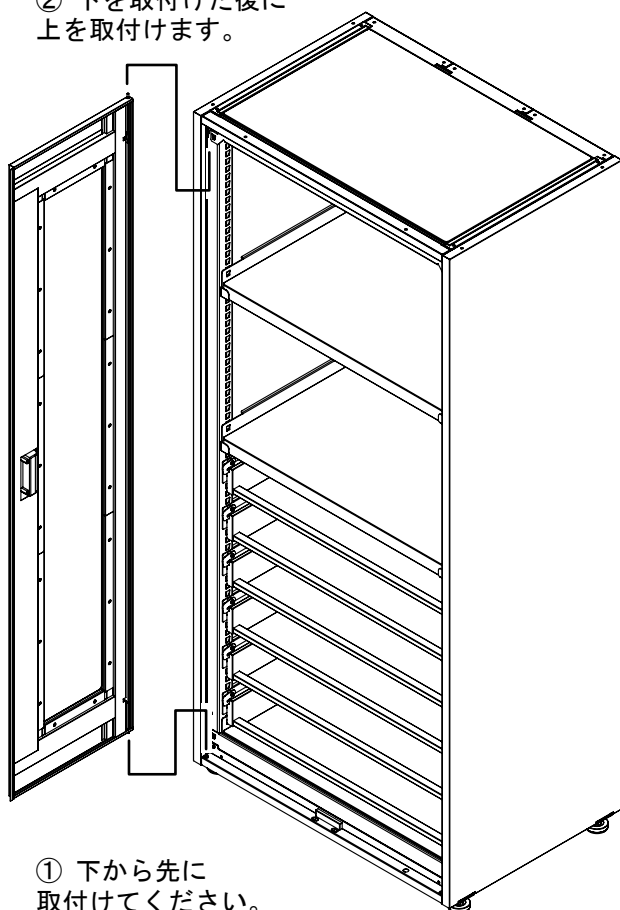
棚板を差し込み、棚受けの止め板の内側にはめ込みます。



## 1 2 扉の取付

左の扉から先に取付けてください。右扉も同じように取付けます。

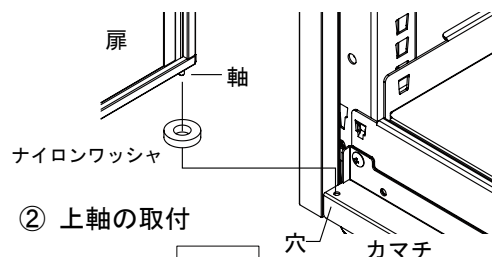
- ② 下を取付けた後に上を取付けます。



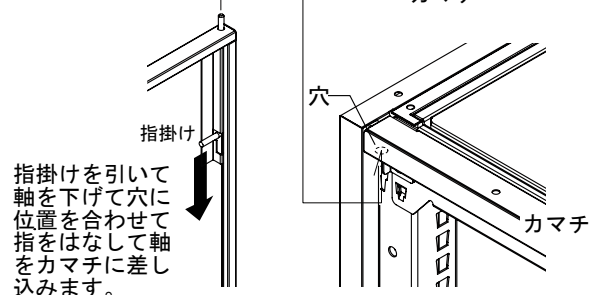
- ① 下から先に取付けてください。

- ① 下軸の取付

軸にナイロンワッシャを差し込みカマチの穴に軸を差し込みます。

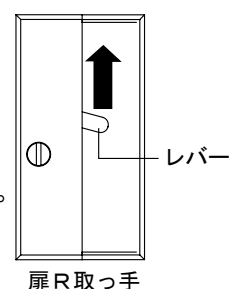


- ② 上軸の取付

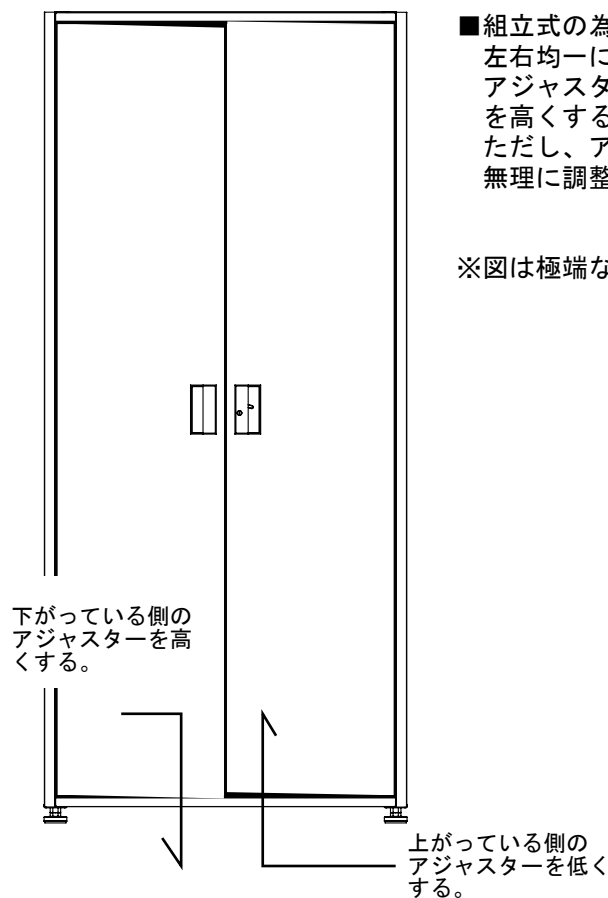


### ■右扉のロック

右扉を開いた状態でレバーを押し上げるとカンヌキ棒が引っ込みロックされます。扉を閉めると、自動的にカンヌキ棒のロックが解除されカンヌキ棒は飛び出し扉は自動ロックします。扉を開ける時は、レバーを押し上げ開きます。



## 1 3 扉の目地調整



■組立式の為、扉を取付後に扉が図の様に傾く場合があります。  
左右均一にしたい場合は、戸当たり部分が上がっている方のアジャスターを低くするか、下がっている方のアジャスターを高くするかで調整してください。  
ただし、アジャスター調整で棚ががたつき安定しない場合は無理に調整を行わないでください。

※図は極端な傾きを示しています。

※図は極端な傾きを示しています。

## 1 4 扉の鍵の取り扱いについて

■扉の鍵は予備を含め2本付属しています。  
予備の鍵は紛失しないように別途保管してください。  
もし2本とも紛失した場合は、取っ手の鍵を差し込むシリンダー表面に番号が刻印されていますので、ご購入の代理店に番号を報告し有料にてご入手してください。

